

2021 年度 病院医学教育研究助成成果報告書

報告書提出年月日	2022 年 3 月 31 日
研究・研修課題名	超音波検査士資格更新ならびに資格取得のための学会参加
研究・研修組織名(所属)	検査部
研究・研修責任者名(所属)	新田 江里(検査部)
研究・研修実施者名(所属)	新田 江里、石飛 文規、吉田 有里(検査部)

成果区分	<input type="checkbox"/> 学会発表 <input type="checkbox"/> 論文掲載 <input type="checkbox"/> 資格取得 <input type="checkbox"/> 認定更新 <input type="checkbox"/> 試験合格 <input checked="" type="checkbox"/> 単位取得 <input checked="" type="checkbox"/> その他の成果(超音波検査士認定試験受験に必要な知識および技術の習得)
該当者名(所属)	新田 江里、石飛 文規、吉田 有里(検査部)
学会名(会期・場所)、認定名等	学会名： 日本超音波医学会第 94 回学術集会、同 第 20 回教育セッション (2021 年 5 月 21 日～23 日 神戸市・WEB ハイブリッド開催) 第 46 回日本超音波検査学会学術集会(2021 年 5 月 8 日～6 月 13 日 WEB 開催) 認定資格：超音波検査士
演題名・認証交付元等	公益社団法人 日本超音波医学会
取得日・認定期間等	認定期間： 新田 江里(2019 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日) 石飛 文規(2017 年 4 月 1 日～2022 年 3 月 31 日)
診療報酬加算の有・無	<input type="checkbox"/> 加算有() <input checked="" type="checkbox"/> 加算無

目的及び方法、成果の内容

①目的

超音波検査の需要は高く、特に近年、心臓・頸動脈・下肢静脈超音波検査は、術前検査としての依頼やがん患者における化学療法前後での検査依頼が著しく増え、検査件数は増加の一途である。さらに、検査結果によっては手術や化学療法の中止・延期など、検査結果が治療方法に直結するケースも多く、臨床からはより精度の高い検査が求められている。そのような臨床からの要望に対応するため、超音波検査士のさらなるスキルアップを図ることと、新たな超音波検査士を育成することを目的とする。

②方法

超音波検査士資格取得者は「日本超音波医学会第 94 回学術集会」(2021 年 5 月 21 日～23 日 神戸市・WEB ハイブリッド開催)または「第 46 回日本超音波検査学会学術集会」(2021 年 5 月 8 日～6 月 13 日 WEB 開催)へ参加し、超音波検査に関するより専門的な知識・技術の習得および資格更新のための所定の研修単位(資格更新年度により異なり、25 単位/5 年または 50 単位/5 年)を取得する。
また超音波検査士受験予定者は「第 46 回日本超音波検査学会学術集会」(2021 年 5 月～6 月 WEB 開催)へ参加し、受験に必要な知識および技術を習得する。

③成果

超音波検査士資格取得者

1) 新田 江里

「日本超音波医学会第 94 回学術集会、同 第 20 回教育セッション:2021 年 5 月 21 日～23 日 神戸市・

(様式1)

WEB ハイブリッド開催」ならびに「第46回日本超音波検査学会学術集会：2021年5月8日～6月13日 WEB 開催」へ参加し、認定資格維持に必要な超音波検査に関するより専門的な知識や技術および最新の知見を習得することで、超音波検査士としてのスキルアップが図れた。また、超音波検査士資格（認定期間：2019年4月1日～2024年3月31日）の更新に必要な所定の研修単位（50単位/5年）のうち30単位を取得した。

2) 石飛 文規

「第46回日本超音波検査学会学術集会：2021年5月8日～6月13日 WEB 開催」へ参加し、認定資格維持に必要な超音波検査に関するより専門的な知識や技術および最新の知見を習得することで、超音波検査士としてのスキルアップが図れた。また、超音波検査士資格（認定期間：2017年4月1日～2022年3月31日）の更新に必要な所定の研修単位（25単位/5年）のうち5単位を取得した。

超音波検査士受験予定者

1) 吉田 有里

「第46回日本超音波検査学会学術集会：2021年5月8日～6月13日 WEB 開催」へ参加し、2022年11月27日（日）開催の第37回超音波検査士認定試験の受験に必要な知識および技術を習得した。